

# むくのきだより



3月号 令和2年2月28日 港区立赤羽幼稚園長 宮崎 直人

## 進級・進学に向けて

園長 宮崎 直人

日に日に寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。柔らかな日差しを浴びて、門の近くにあるカンヒザクラの花が咲き始め、アズマヒキガエルも姿を見せるようになりました。校庭の草木も春の訪れを待ちわびているようです。

連日、新型コロナウイルスに関してテレビや新聞等で報道されています。国や東京都、港区からは、感染症対策に関する通知文が何度も発出されています。赤羽幼稚園におきましても、うがい・手洗い・換気等を徹底するとともに、受付に手指消毒剤を配備し、利用を案内するポスターを掲示するなど、感染予防に努めています。保護者の皆様におかれましても、ご来園いただく際は、ご協力をお願いいたします。今後も、随時お便り等で対応策等をお知らせしてまいりますので、ご確認ください。

2月8日（土）に発表会を行いました。子供たちは、歌を歌ったり、合奏をしたり、劇を行ったり、とても張り切って発表することができました。子供たちに励ましの声を掛けていただき、ありがとうございました。

2月17日（月）には、ゆり組が赤羽小学校の1年生のクラスに行き、体験授業と交流給食を行いました。はじめは、少し緊張した様子でしたが、名前を呼ばれて返事をしたり、手遊びをしたりして楽しく過ごしました。給食もおいしくいただきました。

1年生の皆さん、ありがとうございました。

2月18日（火）には、4月から赤羽幼稚園に入園する子供たちが体験入園に来てくれました。さくら組の子供たちは、とても張り切って新入園児を迎えていました。

2月20日（木）は、浅草の花やしきに、お別れ遠足に行きました。天気にも恵まれ、様々な種類の乗り物に乗ることができて、子供たちは、大喜びでした。さくら組とゆり組の子供たちが関わりながら、様々な乗り物などに乗ることを通して、一緒に楽しむことができました。

さて、進学や進級に向けて、約一か月となりました。ゆり組は、修了という大きな節目を迎え、「小学生になる」という期待に胸を弾ませていることと思います。基本的な生活習慣や、様々な遊びを通して身に付けた、友達と関わる力や集団生活のルールなど、幼稚園での2年間の経験を生かして、小学校でも自分らしさを発揮し、伸び伸びと学んでほしいと思います。

さくら組は、ゆり組に進級します。4月からの進級に向け、様々なことをゆり組から引き継いでいます。「体験入園」での姿からも、上級生になる自覚が生まれてきていることを感じます。

この一年間、二年間で子供たちが心身ともに大きく成長したことを、皆様とともに喜び合えたら、大変嬉しく思います。そして、子供たち一人一人の成長をしっかりと認め、励まし、褒めていくことが、次の成長につながると思います。ご家庭におきましても、お子様の様々な成長を認めていただき、自信をもってゆり組に進級できるようご支援をお願いいたします。

